

海外市場動向に対応した食の輸出拡大推進事業

- 事業期間：2021～2023
- 総事業費：375百万円（2021：112百万円）
- KPI：本事業による道産加工食品の海外での販売商品数・・・2020：250→2023：310

【目的と課題】

- ・本道の基幹産業である農林水産業においては世帯員数の減少、国内市場の縮小など厳しい経営環境にある中、食関連産業の持続的な発展のためには、海外需要を取り込むことが不可欠。
- ・オンライン取引の需要の高まりなど、海外需要を踏まえた道産食品の輸出拡大戦略を官民が共有し、本道の強みである一次産業の生産力や多様性を最大限に発揮することで、所得向上と食関連産業の持続的発展へつなげる。

「北海道地域農林水産物等輸出促進協議会」 における輸出戦略に基づく官民連携による取組

- ・輸送コストの低減等に向けた官民連携組織による取組の検討
北海道地域農林水産物等輸出促進協議会に設けた部会における課題解決に向けた取組の検討
- ・ターゲットを絞った効果的なマーケティング
高額でも品質が高い道産食品を選んで購入する消費者をメインターゲットとしたマーケティングの展開
- ・北海道食材卸・あっせんサポーターを現地（シンガポール・タイ）に配置
商談会后、道内企業と現地バイヤーとの仲介を行うことで成約につなげる専門人材の配置
- ・実店舗とオンライン販売との連動によるキャンペーン
海外どさんこプラザにおける実店舗とオンライン販売とを連動させた道産食品消費拡大キャンペーン開催
- ・ECサイト等の活用支援
道内企業へのECサイトやライブコマースの活用支援
- ・家庭食需要に対応した道産農畜産物の販路確保



これまでの取組から見えた課題

- ◆輸送コスト等による現地価格の高額化
- ◆中小企業における現地バイヤーとの交渉に関するノウハウ不足

コロナ禍を契機とした商流の変化

- ◆EC・オンライン取引の拡大
- ◆家庭食需要の高まり

道産食品の輸出拡大

所得向上・食関連産業の持続的発展

【十勝総合振興局・十勝管内17市町村連携事業】

交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大 推進事業

- 事業期間：2021～2023
- 総事業費：29百万円（2021：12百万円）
- KPI：乗合バス・タクシーの人口千人当
年間利用者・・・2018：22,358→2023：22,740

【目的と課題】

- ・ 十勝管内における地域公共交通の利用者は、感染症の影響等により減少傾向が続いており、地域の交通弱者をはじめとする住民の足としての公共交通を今後も継続的に確保していくことが課題。
- ・ 域内の住民に真に必要な生活交通の確立とともに、域外からの観光客の誘客促進を図るため、官民連携のもと、サービス改善や旅行商品造成、観光情報の発信等により、持続可能な地域交通の確保と交流人口の創出拡大を図る。

地域資源の情報発信と生活交通サービス改善【域内】

地域住民向けワークショップ、戸別訪問

- ・ ニーズ等の聞き取り、聞き取り内容を踏まえた生活交通サービス改善の提案
- ・ ウイズコロナ禍における安全・安心のPR

公共・商業施設と連携した交通サービスの改善

- ・ サービス改善に向けた協議会を主体とした検討

官民による地域の連携組織を設立

- ・ 十勝管内での広域な連携体制を構築
- ・ 商業、観光、移住、交通等の多分野での連携

利用者ニーズを速やかに把握し反映する相互情報共有SNSサイト構築

- ・ SNSサイトの作成
- ・ 新たな移動旅行商品の検討、ワンストップの情報発信

十勝ファンとの交流による関係人口創出

- ・ 観光大使等のインフルエンサーと十勝ファンとの交流会
- ・ 十勝の魅力に関するヒアリング、事業での検討結果提案

行動履歴データに基づく「十勝の価値」向上【域外】

十勝訪問者の利用実態、移動経路、滞在時間情報等把握調査

- ・ 利用実態等の把握調査、乗降調査

行動履歴に適した、必要とされるモビリティ、イベント、アクティビティ、体験メニュー等の情報発信

- ・ 観光・移住のコンテンツデータ整理と情報発信手法の検討

各種交通モードを組み合わせた使ってみたくなる旅行商品の造成検討

- ・ 時間短縮、情報一元化、自由・定額制乗車券など観光客や移住希望者の誘導に向けた新たな旅行商品を検討

広域周遊による誘客促進・情報収集

- ・ 観光施設利用者を対象とした周遊促進キャンペーン
- ・ 観光客、移住希望者など訪問者の利用情報を取得